

利用のご案内

- 開館時間／午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)
- 休 日／月曜日(祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館)及び年末年始(12月29日から1月1日まで)
ただしGW中(4月29日[水]～5月6日[水])は無休
- 臨時休館／9月24日[木]～10月2日[金]、
10月20日[火]～11月11日[水]

■入場料 ()内は20名以上の団体料金

展覧会名	一般	満70歳以上	高校生	小中生
藤田嗣治 絵画と写真	1,360円 (1,240円)	680円 (620円)	1,130円 (980円)	550円 (420円)
富山県水墨美術館コレクション 水墨画を楽しむ7つのとびら	1,240円 (1,130円)	620円 (560円)	980円 (820円)	550円 (420円)
ヨシタケシンスケ展 かもしれない	1,240円 (1,130円)	620円 (560円)	980円 (820円)	550円 (420円)
令和8年度 茨城県芸術祭美術展覧会	800円 (720円)	800円 (720円)	無料	無料
中西夏之 緩やかにみつめるために いつまでも佇む、装置	1,240円 (1,130円)	620円 (560円)	980円 (820円)	550円 (420円)
ポップ・アート 時代を変えた4人	1,360円 (1,240円)	680円 (620円)	1,130円 (980円)	550円 (420円)
所蔵作品展	360円 (270円)	180円 (130円)	270円 (200円)	200円 (140円)

- ※企画展をご覧の方は、同日中に限り所蔵作品展が無料になります。
- ※土曜日は、高校生以下は無料です(中学生の方は学生証をご持参ください)。ただし、夏季・冬季及び学年末・学年始における学校の長期休業日に当たる期間は除きます。
- ※茨城県民の日(11月13日[金])はすべての方が無料です。
- ※以下の方は無料で観覧会をご覧いただけます。

- ・教育課程に基づく教育活動の一環として入館する県内所在の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び県外を含む特別支援学校の児童生徒並びに引率者、教育課程に基づく教育活動の一環として入館する県内幼稚園の幼児の引率者
- ・国際交流事業として、国外から本県内の学校等に留学している方
- ・児童福祉法の規定に基づく児童福祉施設、老人福祉法の規定に基づく老人福祉施設及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律の規定に基づく障害者支援施設に入所している方並びに付き添いの方(1人につき付き添い1人まで)
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証の交付を受けている方並びに付き添いの方(1人につき付き添い1人まで)
- ・生活保護法による扶助を受けている方

- ※満70歳以上の方が無料となる高齢者無料入館日は次のとおりです。
- ・水墨画を楽しむ7つのとびら：4月25日[土]
- ・ヨシタケシンスケ展かもしれない：7月11日[土]
- ・所蔵作品展：9月15日[火]～21日[月・祝]
- ・中西夏之：11月21日[土]
- ・ポップ・アート：1月30日[土]

県立美術館共通年間パスポート(購入日より1年間有効)

一般3,550円、高校生2,370円、小中生1,180円
茨城県近代美術館、茨城県天心記念五浦美術館、茨城県陶芸美術館の各美術館が主催する展覧会で、1年間に何回でもご利用いただけます。ただし、茨城県芸術祭美術展覧会(近代美術館)、貸しギャラリー展(つくば美術館・天心記念五浦美術館・陶芸美術館)は除きます。

友の会

[年会費] 一般3,000円、学生2,000円、ファミリー会員5,000円、特別会員(個人・法人)20,000円

茨城県近代美術館と茨城県天心記念五浦美術館共通の会です。両館主催の展覧会はいつでも無料。美術館の企画展やイベント、友の会独自の催し物のご案内をお送りします。その他の特典や申込方法は、友の会事務局までお問い合わせください。

交通のご案内

【電車・高速バスをご利用の場合】

- 水戸駅まで
 - ◎電 車／①東京駅からJR常磐線特急で約1時間15分
②宇都宮駅からJR宇都宮線・JR水戸線で約2時間
③いわき駅からJR常磐線特急で約1時間
 - ◎高速バス／①東京駅八重洲南口バスターミナルから約2時間
②茨城空港から約40分

- 水戸駅から
 - ◎徒 歩／水戸駅南口から約20分
 - ◎バ ス／水戸駅北口⑧番または南口②番(平日のみ)のりばから乗車約5分、「文化センター入口」にて下車
 - ◎タクシー／水戸駅南口から約5分

【車をご利用の場合】

常 磐 自 動 車 道／水戸ICから約25分、水戸北スマートICから約20分
北 関 東 自 動 車 道／茨城町東ICから約15分

- 駐車場のご案内
当館正面の「ザ・ヒロサワ・シティ会館前駐車場(タイムズ)P」をご利用いただけます。
駐車料金：普通車420円/マイクロバス840円/大型バス1,570円
※当館受付でお渡しする駐車サービス券で精算いただくと、駐車料金が無料となります。満車でのおとめいただけない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



茨城県近代美術館

〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保666-1
TEL:029-243-5111 FAX:029-243-9992
E-mail: info@modernart.museum.ibk.ed.jp
URL https://www.modernart.museum.ibk.ed.jp/



2026年2月発行

茨城県近代美術館 展覧会・イベント スケジュール 2026年4月—2027年3月

The Museum of Modern Art, Ibaraki Exhibition Information

Apr. 2026 → Mar. 2027

富山県水墨美術館コレクション
水墨画を楽しむ7つのとびら
一富岡鉄斎、竹内栖鳳、横山大観から加山又造へ
2026.4.25～6.21



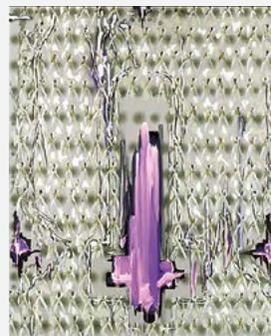
平福百穂「獅子図」
(左隻部分)
1915年
富山県水墨美術館



ヨシタケシンスケ展
かもしれない
2026.7.11～9.13

展覧会メインビジュアル
©Shinsuke Yoshitake

没後10年
中西夏之
緩やかにみつめるために
いつまでも佇む、装置
2026.11.12～2027.1.17



中西夏之「紫・むらさき XVII」1983年
東京国立近代美術館
©NATSUYUKI NAKANISHI

ポップ・アート
時代を変えた4人
POP ART: THE FAB 4!
& 4 SPECIAL GUESTS
2027.1.30～4.11



アンディ・ウォーホル「マリリン」
1970年
ホセリス・ルベレス・コレクション
© 2026 The Andy Warhol
Foundation for the Visual Arts,
Inc. / ARS, NY & JASPAR,
Tokyo E6262
© Jose Luis Ruperez Collection

施設紹介

茨城県近代美術館は、1988(昭和63)年、借楽園の眼下に広がる千波湖のほとりに開館しました。2階には企画展示室、1階には所蔵作品展展示室及びアートフォーラム、地階には講堂や講座室があり、さまざまな展覧会やイベントを行っています。また、館内はバリアフリーに配慮したつくりになっているほか、ミュージアムショップやレストランもありますので、安心して楽しくご利用いただけます。

■アートフォーラム
子どもから大人まで楽しめる無料のスペースです。企画展にちなんだ展示やプロジェクト、創作体験やミニワークショップ、フォトスポットなど、様々な体験ができます。映像コーナーでは、企画展や所蔵作品の紹介映像のほか、自分の描いた絵が動き出すデジタルアートなどもお楽しみいただけます(授乳スペースあり)。図書コーナーには絵本やパズル、美術関係図書や雑誌も充実しています。

■中村彝アトリエ
大正期に活躍した水戸市出身の洋画家中村彝(1887-1924)の東京都新宿区下落合にあったアトリエを、当館敷地内に新築復元し、公開しています。

【開室時間】
火～金曜日：午後1時～午後3時
土・日・祝日：午前10時30分～午後3時
【休室日】
当館休館日に同じ
*そのほか臨時に休室する場合があります。

イベント紹介

年間をおとして様々なイベントを実施しています。

- 講演会
展覧会ごとに多彩な講師をお迎えして開催します。
- 企画展鑑賞講座・ギャラリートーク
企画展の見どころを当館学芸員が紹介します。企画展チケットをご用意ください(ギャラリートークの場合)。
- ようこそ！美術の森へー学芸員と巡るコレクション
所蔵作品展を鑑賞しながら語り合う、対話型のギャラリートークです。所蔵作品展チケットをご用意ください。
- 【実施日】 毎月第3土曜日
*都合により第3土曜日以外の日程に変更になる場合があります。
- 【時間】 午前11時～(約30分)
- コレクションミニガイド
展示解説員が、所蔵作品展をわかりやすくご案内します。所蔵作品展チケットをご用意ください。
- 【実施日】 所蔵作品展のみの期間中 【時間】 午前10時～(約20分)
- 家族でわくわくミュージアム
乳幼児・小学生を含むご家族で楽しむ、対話型の作品鑑賞会です。各所蔵作品展会期中に対象年齢を変えて3回程度開催。所蔵作品展チケットをご用意ください。
- オリエンテーション
団体(20名以上)でご来館の際には、展覧会見学前に当館について簡単にご案内します。ご希望の場合は事前にご連絡ください。

- ミュージアムコンサート
講堂またはエントランスホールにて、不定期で開催しています。
- オープンワークショップ
参加自由のワークショップを年2回程度開催します(事前申込不要、当日先着順)。



企画展鑑賞講座 ミュージアムコンサート オープンワークショップ

4月 Apr 5月 May 6月 Jun 7月 Jul 8月 Aug 9月 Sep 10月 Oct 11月 Nov 12月 Dec 1月 Jan 2月 Feb 3月 Mar

**富山県水墨美術館コレクション
水墨画を楽しむ7つのとびら**
—富岡鉄斎、竹内栖鳳、横山大観から
加山又造へ

4月25日(土)→6月21日(日)



白と黒を基調とする色彩に無限の広がりを見せる水墨画の世界。その魅力に光をあてる本展では、鑑賞の手がかりとして「7つのとびら」をご用意します。例えば、賛(書)と画の響き合いを楽しむ「文字と絵のコラボレーション」、濃淡やにじみによる墨の表情に着目する「筆の痕跡に注目」など。多様な“とびら”を開くことで、水墨画の豊かで奥深い世界へとぜひ踏み出してみてください。

高岡鉄斎「四幅図」1894年
富山県水墨美術館

『りんごかもしれない』
ブロンズ新社 2013年
©Shinsuke Yoshitake

藤田嗣治 絵画と写真
→4月12日(日)

ヨシタケシンスケ展かもしれない
7月11日(土)→9月13日(日)

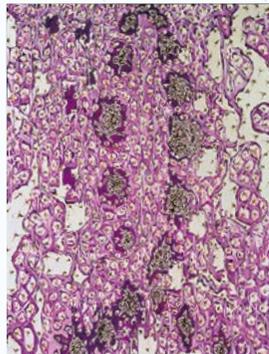
『りんごかもしれない』(2013年)以降、子どもから大人まで大ブームを巻き起こしている絵本作家、ヨシタケシンスケ(1973-)。クスッと笑える人のクセやしぐさ、世界の真理をつくようなものの見方を描き続け、多くの人々をひきつけています。本展では、発想の源である小さなスケッチのほか絵本原画や愛蔵のコレクションなどを展示し、さらに絵本の世界を体感できるインタラクティブなアトラクションも登場します。ぜひお楽しみください。



※「ヨシタケシンスケ展かもしれない」はパートナー企業からのご支援をいただいております。

没後10年 中西夏之
緩やかにみつめるためにいつまでも佇む、装置
11月12日(木)→1月17日(日)

現代日本を代表する画家・中西夏之(1935-2016)の、没後10年にして初の回顧展。初期には実験的なパフォーマンスやオブジェ制作、舞台美術などに



中西夏之「作品一たとえば波打ち際にて」XII」1985年
セゾン現代美術館 ©NATSUYUKI NAKANISHI

※「没後10年 中西夏之」はパートナー企業からのご支援をいただいております。

**ポップ・アート
時代を変えた4人**
POP ART: THE FAB 4!
& 4 SPECIAL GUESTS

1月30日(土)→4月11日(日)

1960年代のアメリカのアートシーンを席捲し、世界的なムーブメントを巻き起こしたポップ・アート。本展では、同じ60年代に人気を博したザ・ビートルズの愛称「FAB 4 (Fabulous 4=素晴らしい4人)」になぞらえて、ポップ・アートを牽引した4名の作家、ロイ・リキテンスタイン、アンディ・ウォーホル、ロバート・ラウシェンバーグ、ジャスパー・ジョーンズに焦点を当て、彼らと共に活躍した作家もあわせてその魅力を紹介し



MORATORIUM

ジャスパー・ジョーンズ「モラトリアム」1969年
ホセ・ルイス・ルペレス・コレクション
© Jasper Johns / VAGA at ARS, NY / JASPAR, Tokyo 2026 E6262
© Joseluis Ruperez Collection

令和8年度茨城県芸術祭美術展覧会

10月3日(土)→10月18日(日)

茨城県、茨城県教育委員会、茨城文化団体連合会等が主催する全県的な公募展です。日本画・洋画・彫刻・工芸美術・デザイン各部門の入選作品を展示します。

※書・写真部門は、ザ・ヒロサワ・シティ会館で展示します。
※県立美術館共通年間バスポート対象外。

日本の近代美術と
茨城の作家たち 春
→4月5日(日)



オーギュスト・ロダール
「マドモワゼル・フランソワ」1917年

日本の近代美術と
茨城の作家たち 春から夏へ
4月10日(金)→5月31日(日)



岡鹿之助「観測所(信号台)」
1926年

美術のなかの
「眠り」と「夢」
6月4日(木)→7月26日(日)



守みどり「光画」2021年

日本の近代美術と
茨城の作家たち 夏から秋へ
7月30日(木)→9月23日(水・祝)



菱田春草「站」
1905年頃

木村武山
須磨御殿杉戸絵
→4月5日(日)



清宮質文「コップの中の蝶」1962年

清宮質文の木版画
蝶は刻の海をわたる
4月10日(金)→5月31日(日)



エドワード・バーン＝ジョーンズ
「黄金の門」(『フラワー・ブック』
[1905年刊行]より)

お城をめざして 一門と宮殿と神殿と
7月30日(木)→9月23日(水・祝)



山本直彰「Door R-1」1995年

金の世界
小川芋銭《江村六月 雲巒烟水》
修復を記念して
11月12日(木)→1月11日(月・祝)



小川芋銭「江村六月」1935年

新収蔵記念
中村彝と同時代の美術家たち
11月12日(木)→1月11日(月・祝)



田中信太郎
「ハート・モビール」
1966-71年頃

中村彝「向日葵」
1916年頃

日本の近代美術と
茨城の作家たち 冬から春へ
1月15日(金)→3月7日(日)



木内克「女」1956年

日本の近代美術と
茨城の作家たち 春
3月11日(木)→
次年度



木村武山
「黒猫」
1918年頃

戦後日本の美術
1月15日(金)→次年度
3月8日(月)～10日(水)は休室。一部展示替。



堂本尚郎「1959-5」1959年



堂本尚郎「1959-5」1959年

所蔵作品展
横山大観、中村彝の作品にいつでも会える美術館

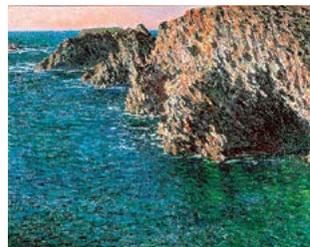
茨城県近代美術館では、近代にふさわしい新しい日本画の創出に生涯を捧げた横山大観と、病に冒されながらも描くことへの欲求に突き動かされるかのように短い生涯を駆け抜けた洋画家中村彝という、日本の近代美術に大きな足跡を残した二人を中心に、茨城ゆかりの芸術家の作品を収集しています。

さらに大観や彝の画業を語る上で欠くことのできない印象派をはじめとする西洋近代美術や、日本の近代美術を彩ってきた芸術家の作品を明治から現代まで幅広く網羅したコレクション約4,300点を、所蔵作品展で順次紹介しています。

展示全体のテーマを「日本の近代美術と茨城の作家たち」とし、主に第一展示室において、横山大観や北茨城の五浦で大観と共に切磋琢磨した下村観山、菱田春草、木村武山ら「五浦の作家」、国内随一の作品所蔵数を誇る中村彝、大観や彝をはじめとする日本の芸術家に大きな影響を与えたクロード・モネやオーギュスト・ルノワールらの西洋近代美術など、茨城ゆかりの作家を含む日本の近代美術と共に、季節にあわせて幅広く紹介しています。また、第二展示室では毎回テーマを設定し多様な作品の魅力を発信しています。



中村彝
「カルピスの
包み紙のある静物」
1923年



クロード・モネ「ホール＝ドモワの洞窟」1886年



横山大観「流燈」1909年

※今年度の展示については、当館ホームページをご確認ください。

他館インフォメーション

茨城県天心記念五浦美術館
〒319-1703 北茨城市大津町樺2083
TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711
URL <https://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/>

茨城県つくば美術館
〒305-0031 つくば市吾妻2-8
TEL:029-856-3711 FAX:029-856-3358
URL <https://www.tsukuba.museum.ibk.ed.jp/>

茨城県陶芸美術館
〒309-1611 笠間市笠間2345(笠間芸術の森公園内)
TEL:0296-70-0011 FAX:0296-70-0012
URL <https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

茨城県天心記念
五浦美術館
企画展

生誕150年記念
木村武山展
→4月19日(日)

関野商事コレクション
斎藤清のパリ そして日本
4月26日(日)→7月12日(日)

星に願いを、月に祈りを
7月18日(土)→8月30日(日)

井手康人展 — 共鳴する祈り
9月12日(土)→11月15日(日)

日本中の子どもたちを笑顔にした
絵本作家 かがくいひろしの世界展
11月23日(月・祝)→1月17日(日)

日本画家たちの留学
1月26日(火)→次年度

茨城県
陶芸美術館
企画展

吉田璋也のデザイン
— 新作民藝運動がめざした未来
→6月21日(日)

エミール・ガレの陶芸Ⅱ(仮称)
7月11日(土)～9月23日(水・祝)

THE HEADLINERS 2026
10月10日(土)～12月13日(日)

茨城県立笠間陶芸大学校十周年記念展(仮称)
1月2日(土)～3月7日(日)

リサーチン展(仮称)
3月20日(土)→
次年度